

きみの鳥はうたえる (2018)

メディア 映画

ジャンル 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2018/09/01

公開情報 コピアポア・フィルム＝函館シネマアイリス

映倫 G

【キャッチコピー】

この夏が、
いつまでも
続くような
気がした

【解説】

函館シネマアイリス開館20周年記念作品として、佐藤泰志の同名小説を、舞台を東京から現代の函館に移して映画化した青春ストーリー。主演は「素敵なダイナマイトスキャンダル」の柄本佑、共演に「映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ」の石橋静河と「空海—KU-KAI— 美しき王妃の謎」の染谷将太。監督は「Playback」「THE COCKPIT」の三宅唱。函館郊外の書店で働く「僕」は、失業中の静雄と小さなアパートで一緒に暮らしていた。そんな中、ふとしたきっかけで関係を持った同僚の佐知子が、毎晩のようにアパートへ遊びに来るようになる。佐知子と恋人のような関係になりながらも、静雄も加えた3人で過ごす気ままな青春を謳歌していく「僕」だったが…。

【クレジット】

監督	三宅唱	
製作	菅原和博	
プロデュース	菅原和博	
企画	菅原和博	
プロデューサー	松井宏	
ラインプロデューサー	城内政芳	
アソシエイトプロデューサー	寺尾修一	
原作	佐藤泰志	『きみの鳥はうたえる』 (河出書房新社／クレイ ン刊)
脚本	三宅唱	
撮影	四宮秀俊	
美術	井上心平	
衣裳	石原徳子	
キャスティング	神林理央子	
音楽	Hi' Spec	
照明	秋山恵二郎	
録音	川井崇満	
メイク	石川紗織	

小道具
助監督
出演

平野藍子
松尾崇
柄本佑 「僕」
石橋静河 佐知子
染谷将太 静雄
足立智充 森口
山本亜依 みずき
柴田貴哉 長谷川
渡辺真起子 直子
萩原聖人 島田
水間ロン
OMSB
Hi' Spec